

勤儉 奉公

高木正年

皆さんこの華表を奉献した人は明治三十年から三十八年まで岩槻町で按摩をしてゐた人でありますこの人が生まれつき情深い人だと云ふ事は三十八年東北地方に大飢饉があつた時に率先して筆墨紙教科書などの義捐品を集めて凶歉地へ送つたと云ふのもわかりませうこれは東北地方の小學校の生徒が飢饉の為學用品に差支へるのを救はうと思つてしたのですそれからこの人は三十九年に東京へ出て色々の辛い目苦しい目に會ひながら一心に按摩の家業を勵んでとうとう大正五年には平野村の就學奨励資金に百圓を岩槻町と同資金に五十圓を寄附するやうな身分になりましたその外色々な救恤事業に盡悴した事は云ふまでもありません正直の頭に神宿るとはかう云ふ人の事でありませうこの感心な人と云ふのは明治十七年四月十日埼玉縣南埼玉郡平野村字根金に生まれた廣庵関口平太郎君の事であります

大正六年九月一日

文學士芥川龍之介撰并書

蓮田

石喜鐫

ゴシック体の文字は変体仮名
を書き直したものを。
旧漢字はそのままとした